



庫内スペース(2号機)



地下のリフト位置から引き込み装置で格納(2号機)

殿堂としての歴史と最先端のオフィス空間が融合した新生・歌舞伎座は、銀座のランドマークとして、さらには伝統的な日本文化の発信拠点として、東京の新しい顔となっていくことでしょう。



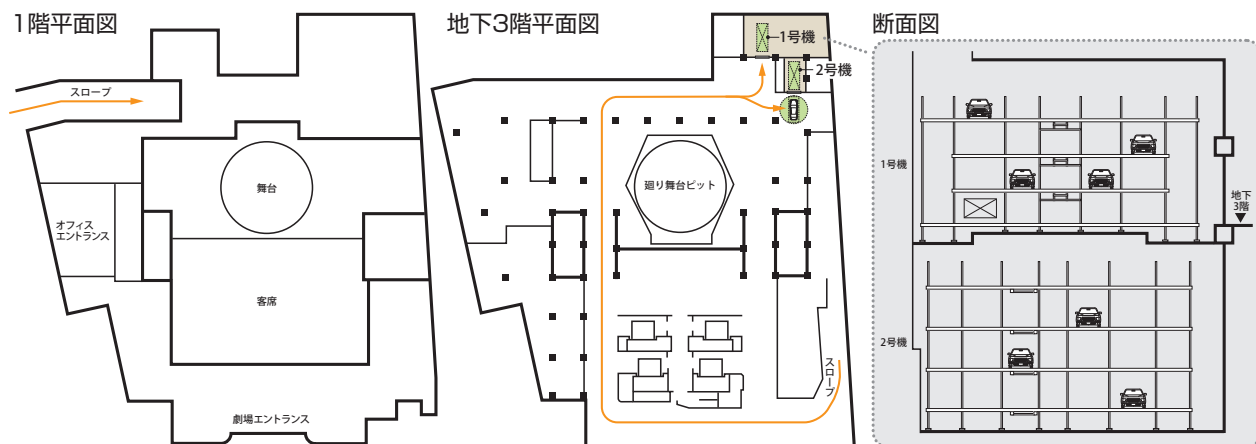
直接乗り込みタイプの格納スペース(1号機)

今回の歌舞伎座建て替え計画では、空間を最大限に有効活用でき、しかも求められた収容台数を確保できる駐車設備が求められました。その条件を唯一クリアするパーキングシステムとして採用されたのが、多層式の中で最も空間効率に優れた日精の多層循環箱型方式「SPパーク」です。

あらかじめ限られた敷地に4層のSPパークを2基導入することで、合計44台の収容を実現しました。

日本が世界に誇る劇場「歌舞伎座」。日々多くの来場者を迎えるその入り口のひとつに、実績に裏打ちされた日精ならではの先進技術が活かされています。

限られたスペースに2基のSPパークで44台の収容台数を確保



発行日：2013年4月5日
通刊第27号
発行：日精株式会社
パーキングシステム事業部
〒105-8411 東京都港区西新橋1-18-17
明産西新橋ビル
TEL.03-3502-9555～7(ダイヤルイン)

本誌掲載の写真・記事の無断転載および複写を禁じます。

最後に改めて、取材に当たり、ご協力いただきました皆様方に厚く、厚く御礼申し上げます。

厳しい時代ではありますが、日精はこれからも皆様にご満足いただける駐車設備を提案してまいります。何卒変わらぬご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

日頃より「COM」をご愛読いただきまして、ありがとうございます。編集スタッフ一同、心から感謝申し上げます。今号の建築家インタビューでは、建築界のノーベル賞と評される「プリツカー賞」を受賞するなど、世界を舞台に活躍する西沢立衛先生にお話を伺いました。

編集後記

また、弊社がご提案させていただいているFLXシリーズと、リブレースによる最新の納入事例を多数ご紹介させていただきました。皆様の日々のお仕事の中で、何か少しでもヒントになればこの上ない幸せです。

GINZA KABUKI-ZA

歌舞伎の殿堂と高層オフィスビルが融合した新生・歌舞伎座

一九五一年の改修から六十二年となる、全面的な建て替え工事が行われた歌舞伎座。今回、新たに誕生する第五期歌舞伎座は、施設の総称を「GINZA KABUKI-ZA」といい、第四期の歌舞伎座の意匠を継承した劇場「歌舞伎座」と、高層オフィス「歌舞伎座タワー」を併設した複合ビルになります。

「時間の継承」をコンセプトに日本建築の美を追求した設計・デザインは、三菱地所設計と隈研吾建築都市設計事務所が共同で担当。劇場棟は歴代の歌舞伎座が担ってきた祝祭空間としての雰囲気、そして瓦屋根や唐破風など多くの人に愛されてきた第四期歌舞伎座の意匠が踏襲されています。

劇場の背後に建つ高層オフィスは、銀座の街並みと調和しつつ歌舞伎座を引き立てる背景となるよう、日本建築の捻子連子(ねりこれんじ)格子をモチーフとして採用。シンブルさのなかに柔らかな陰影を感じさせる端正なファサードが特徴です。また、七階から

二十九階までの賃貸オフィス部分では、銀座地区最大のフロアプレートとなる、有効面積約一七〇〇平方メートル、天井高二・八メートル、奥行き約二〇メートル、幅約七・五メートルの無柱空間を実現しました。

さらに、劇場と高層オフィスのビルの間には、歌舞伎座ギャラリーと日本庭園を設置。今後、オフィスワーカーにとってはリフレッシュスペースとして、地域の人々や東京を訪れる観光客にとつては憩いの場所として機能することでしょう。

「歌舞伎座は変わらない」というコンセプトを基本とする一方で、今回のリニューアルでは、設備や利便性が大幅に改善されました。各施設や地下と地上を結ぶ動線のバリアフリー化、トイレの増設などすべての人により快適な空間づくりを実施。防災面では建物構造の耐震性能を高め、災害時には帰宅困難者の一時避難スペースとして利用できるなど機能も追加されています。

長きにわたり刻まれてきた歌舞伎の



外観(晴海通り側)



入庫口レイアウト(1号機)

入庫口レイアウト(2号機)



併設された2基のSPパーク(左側1号機・右側2号機)

【建築概要・規模】	
■建築主	松竹株式会社(100%出資spc)株式会社歌舞伎座
■敷地面積	6,995.85㎡
■延床面積	94,097.40㎡
■構造規模	地上29階、地下4階、塔屋2階
■設計・監理	株式会社三菱地所設計 隈研吾建築都市設計事務所
■施工	清水建設株式会社
【駐車設備概要】	
■機種	SPパーク(多層循環箱型方式)
■型式	SPLS4-22-U/SPLS4H-22PF-U
■収容台数	44台(2基合計)
	その他(立体駐車196台、平面駐車40台)